

トピック(テーマ)	赤羽王郎		
ねらい	長野県下の小学校教員の中に、明治43年(1910)に創刊された雑誌『白樺』の同人となって、その芸術運動に共鳴し児童の教育にあたる者が登場する。信州白樺派といわれる教師たちである。赤羽王郎はその信州白樺運動の先駆者である。大正自由主義教育の一翼を担ったこの流れは当局による弾圧へつながる。赤羽王郎の足跡をたどり、大正期の信州教育の本質の一端についてふれる。		
キーワード	赤羽王郎 信州白樺運動 雑誌『白樺』 新しき村 武者小路実篤 戸倉学校事件 雑誌『地上』 柳宗悦・兼子 中村亮平 笠井三郎		
概要を知るためのツール	1	書名	信州近代の教師群像 続
		著者名	中村一雄／著
		出版社	東京法令出版
		出版年	1995.9.1
		内容紹介	赤羽王郎は信州白樺運動の出発に当たり、重要な役割を果たした白樺教師である。川中島・中津小学校、諏訪郡玉川小学校、埴科郡戸倉小学校などと歴任して、武者小路実篤らと関係を深め、展覧会・音楽会などが県内各地へ広がっていった。学校図書の売却問題、村民との対立に端を発して大正7年から8年にかけて起こった戸倉学校事件で赤羽は退職に追い込まれている。大正期長野県の自由教育の一端を担った信州白樺運動の先駆者であった王郎の活動が概観できる。
資料リスト	1	書名	『白樺』の周辺—信州教育との交流について—
		著者名	今井信雄／著
		出版社	信濃教育会出版部
		出版年	1975.9.10
		内容紹介	掲載論文は『白樺』の周辺、“白樺派同人”の入信、“戸倉事件”の位相、『地上』における白樺運動、“信州白樺運動”年表などで構成。赤羽王郎、信州白樺運動についてより深く追究することができる。
	2	書名	わたしの歩いた道
		著者名	赤羽王郎／口述, 中村一雄／編
		出版社	信濃教育会出版部
		出版年	1982.6.20
		内容紹介	赤羽王郎口述の自伝である。自己の遍歴を振り返り、口述したものをまとめたものである。理想を追求したその歩みと抱き続けた人生観・教育観を理解する上で好適である。末尾に「赤羽王郎略年譜」が収録されている。
	3	書名	長野県教育史 第3巻 総説編3
		著者名	長野県教育史刊行会
		出版社	信教印刷
		出版年	1988.3.10
		内容紹介	第5節 教員と教育会 4項 新しい教師論の出現と教育活動 白樺派教員と戸倉・倭事件 東西南北会から教員左翼運動と二・四事件まで、明治40年代から昭和8年頃にかけての長野県教育界の諸動向を概観できる。自由主義的な教育活動の展開と二・四事件後の弾圧によって表舞台から姿を消す過程である。

	4	書名	信州白樺 NO.68 終刊号 特集 赤羽王郎
		著者名	『信州白樺』終刊号刊行委員会
		出版社	銀河書房
		出版年	1990.5.21
		内容紹介	宮坂栄一が個人で発行し続け、その没後に刊行された。赤羽王郎の日記・書簡・年譜・王郎の思い出などを収める。王郎の教師像・人間像、その魅力に惹きつけられる内容となっている。
インターネット	1	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	https://iss.ndl.go.jp/
		概要	赤羽王郎に関する図書、記事論文を探すことができる
	2	サイト名	信州ブックサーチ
		URL	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html
		概要	赤羽王郎に関する図書、記事論文を探すことができる
新聞	1	見出し	今日の視覚 忘憂里の丘
		発行機関	信濃毎日新聞 夕刊1ページ
		年月日	1997.9.4
	2	見出し	白樺教師の教えは 特別展
		発行機関	信濃毎日新聞 朝刊24ページ
		年月日	2014.8.21